

実施日：12月1日（3校時）	
領 域：④総合的な学習	
取組名：人の世に熱あれ 人間に光あれ	
対 象：6年生	実施場所：教室
ア ねらい 部落差別解消へ立ち上がった西光万吉の姿に共感するとともに、人間の自由と平等を求めた水平社宣言の意味や力強さに気づき、差別のない社会の実現を目指そうとする意欲を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 第1次 不合理な部落差別に苦しむ万吉の様子と仲間と共に差別に立ち向かう意欲を感じ取る。 ・ 資料全文を読み、万吉の生き方に対する感想を交流する。次に資料前半の不合理な差別に苦しむ万吉の心情を読み取り、部落差別への憤りを持つ。さらに後半部分の仲間と共に、水平社を創立し、差別に立ち向かう万吉の姿を感じ取り、水平社宣言に込めた万吉らの思いを感じながら、宣言文を読み、感動した文を見つけ、その理由を書く。 第2次 人間の自由と平等を求めた水平社宣言の意味や力強さに気づき、差別のない社会を目指そうとする意欲を育て高める。 ・ 宣言文（現代語訳）を読み、自分が感動した文を見つけ、その理由を交流する。最後に現代に残る差別事象を取り上げ、これからの自分たちの役割について交流する。	
ウ 連携先：他学級、他学年、家庭	
エ 連携にむけての取組 ・ 動画で授業記録をまとめ、学年で児童の思いを共有する。 ・ 学級や学年通信で児童の思いを紹介し、保護者へ啓発する。 ・ 学年の重点教材として指導案、成果と課題をまとめる。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 ・ 指導案と成果と課題について、人権教育研修会で交流し、来年度への教材の引継ぎと、児童の人権意識の経過を見とり、共有する。 ・ 人権推進委員会で、各学級の人権教育基本計画から成果と課題までを冊子にまとめ、交流する。	
カ 評価の方法 ・ 行動観察 ・ ワークシートの記述	
キ 成果 ・ 自分自身の「差別する心」を見つめ、日常の人との関わり方や行動を「思いやる」方向へと変化させようと取り組む児童が増えた。 ・ 最高学年として、自ら積極的に「挨拶をする」「約束を守る」「規律正しく振舞う」など、主体的に目標を立て、前向きに取り組む、互いに励まし合う姿が広がっている。	
ク 課題 ・ 思いとは裏腹にきつい口調で相手を指摘してしまう。 ・ 自尊感情が低い児童が多く、よい行いが継続しない。 ・ 悪い行いを注意喚起するよりも良い行いを紹介し、児童らの主体性に委ね見守ることを推進していく。 ・ 「人権の実」を利用する児童が固定している。各教室で自他を認める活動を推進する。	